

広報委員会：田中洋之(委員長)，平井啓久，渡
邊邦夫，三上章允，鈴木樹理，松永裕之(総務掛長)
(文責：田中洋之)

VII. 自己点検評価委員会報告

例年通り業績データベースや研究概要データベース等を基に年報を作成した。

平成 18 年度は外部評価を受けるための自己点検データを収集した。現況(組織，予算，土地・建物，サル類・標本・図書)，研究成果(1996-2006 の 10 年間の学術論文業績ならびに栄誉)，研究・体制(1996-2006 の 10 年間の教員の動向-流動部門や寄附研究部門の導入と任期制，大学院生の動向，日本学術振興会特別研究員，非常勤研究員，RA・TA，全学共通教育，学部教育，予算，飼育サル，図書)，共同研究(共同利用研究，日本学術振興会先端研究拠点事業(HOPE)，21 世紀 COE 拠点形成費補助金，RRS 計画と NBR 受託事業，海外学術交流)，広報と情報公開(公開講座(犬山，東京)，市民公開日)，英文業績リスト)，の点検項目を詳細に調査した。収集データを冊子体にまとめ，依頼した 15 名の外部評価委員に意見をもとめた。外部評価委員の評価と指摘ならびにその指摘に対する研究所の補足回答を加えて，冊子体「外部評価報告書」として印刷公表した。

自己点検評価委員会：平井啓久(委員長)，上野吉一，
杉浦秀樹，田中正之，相見満，松沢哲郎(所長)
(文責：平井啓久)